



木の図書館スタッフが選ぶ1冊！

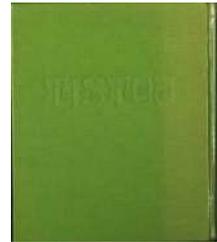
『みどりのゆび』

ド

モーリス・ドリュオン/作 岩波書店 2009年

自分の親指に植物を育てる才能があることを知った少年チト。その不思議なチカラを生かして、世の中のいざこざを花で平和に解決していきます。文も挿絵も、うっとりする美しさ。春にオススメの一冊です。

P.N. アオサギ



PN.: たまごさん/絵



読書が好きな
YA/ート
YA! によるYAのための



PN.: ハッピーラビットさん/絵

「刀語 第一話」

ニ

西尾維新/著 講談社 2007年

私がオススメするのは「刀語」です！
西尾維新さんに今超×100ハマっていて
その時に見つけました！！

かんじょうのない男の子と「きさくし」の
とがめcが12本の刀を探す話です！
そしてなんと最後は…！

ぜひぜひ読んでみて下さい！
(PN: マカロンさん/文・絵)

YA/ートへの書き込み募集中！
キミもノートに書き込んでみよう！



編集後記

今号の「お仕事特集」、気になる本はありましたか？
共に働く人たちががんばる姿。突然訪れるアクシデント。そして無事に終わった時の達成感。
この「もくほん！」も、物語のような日常で、毎号生まれているのかもしれない。いゝいゝ。
ではまた！次回発行の「もくほん！」もお楽しみに！